

郵船ロジスティクス株式会社の 完全子会社化について

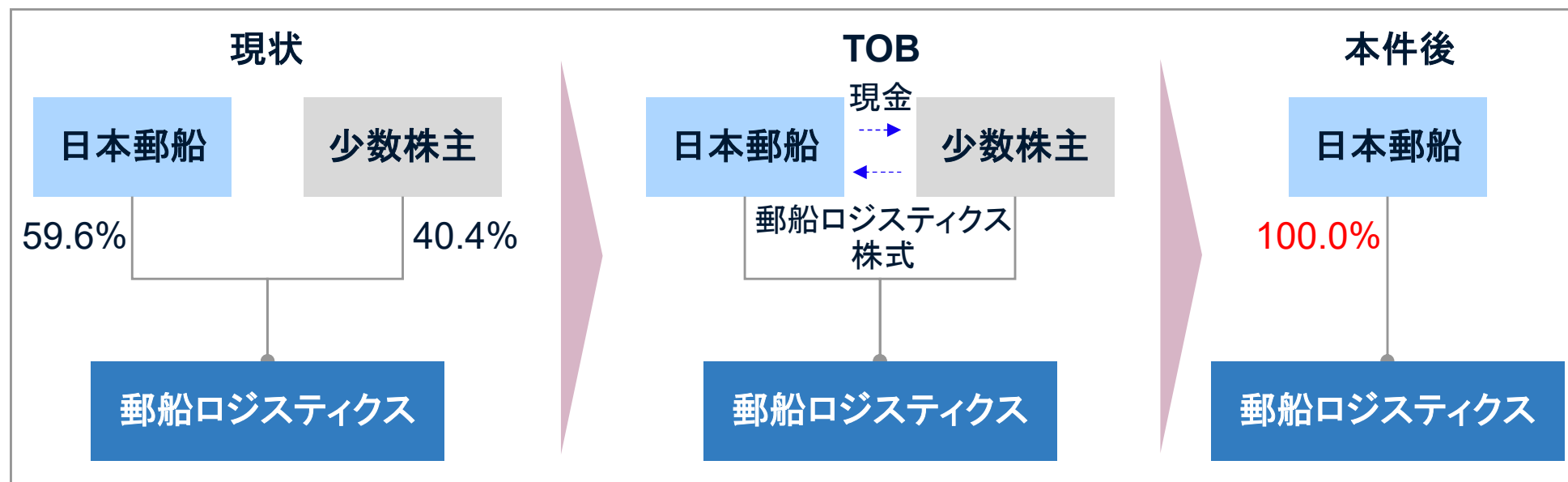
2017年10月31日

▶ 概要

- 連結子会社である郵船ロジスティクス（東証一部上場 証券コード：9370）の完全子会社化

▶ 本件スキーム

- 公開買付け等の手続きを通じて、郵船ロジスティクス株式（日本郵船保有分を除く）を現金対価にて取得
- 取得価格： 約256億円^(※)（1,500円/株）



▶ 今後のスケジュール

- 公開買付期間： 2017年11月1日～12月14日
- 公開買付決済日： 2017年12月21日
- 本件完了日： 遅くとも2018年3月末までを予定

- ▶ 現中計の方針に沿い、ボラティリティの低減と他社との差別化を図る

① ライトアセット化

- ✓ 自社保有・長期備船（コアアセット）の比率を下げる
- ✓ 短期備船（ライトアセット）、フォワーディング（ノンアセット）の比率を増やす

② コンテナ輸送事業戦略の推進

- ✓ コンテナ輸送の最適な事業ポートフォリオを追求
 - アセット → 定期コンテナ事業の統合 ONE(統合会社)の確実な立ち上げ
 - ノンアセット → 物流事業の拡大

③ 海運業+aの取組における差別化 運賃安定型事業の積上げ

- ✓ 日本郵船グループの技術力を活用した差別化
例 自動車物流、プロジェクト貨物等

▶ 物流事業をグループの中核事業とし、事業基盤の強化に向けた各種施策に取り組む

物流事業

環境認識

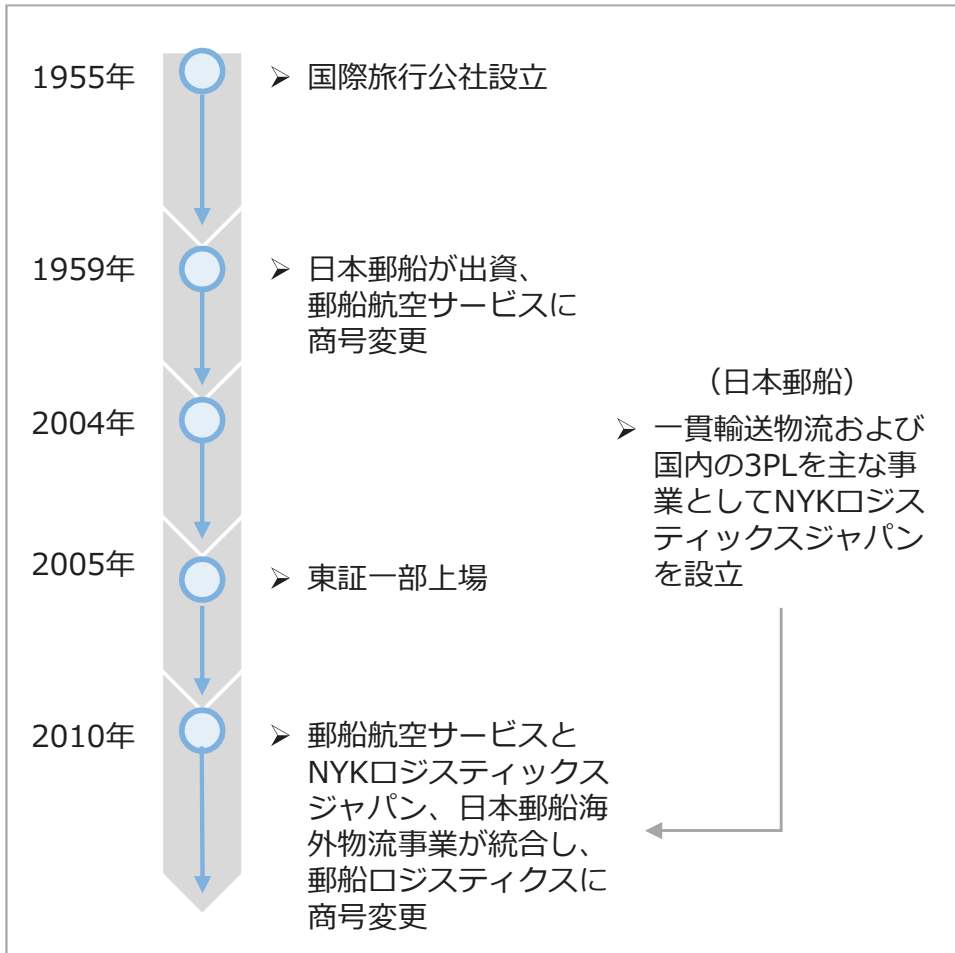
- ✓ 顧客ニーズの変化
 - ・ グローバル化
 - ・ 多様化、複雑化するサプライチェーン
 - ・ ワンストップサービス需要の拡大

アクション

- ✓ 成長産業と新興市場を核に総合物流サービスを拡大
- ✓ 更なる事業連携を模索、営業基盤の拡大
- ✓ 選択と集中による戦略投資（含むM&A）により事業規模を拡大
- ✓ グループの経営基盤（ヒト、モノ（含IT）、カネ）を活かした営業強化

▶ グループの物流企業を郵船ロジスティクスに集約し、物流事業の強化に努めてきた経緯

郵船ロジスティクス沿革



日本郵船グループ物流事業の郵船ロジスティクスへの統合

• 統合の概要

- ▶ 2010年に郵船航空サービスとNYKロジスティクスジャパン、日本郵船海外物流事業が統合

• 統合の目的

- ▶ 顧客企業の物流グローバル化と全体最適化要請の深化
- ▶ 物流企業のグローバル化進展と競争の激化



- ▶ 海/空のフォワーディングとコントラクト・ロジスティクスを事業の両輪とし、**総合物流業者として顧客のグローバルな物流最適化要請に応えるサービスを提供 (郵船ロジスティクス現中長計TRANSFORM 2025の完遂)**

A

事業連携の深化、営業基盤の拡大

- 自動車関連物流、プロジェクト貨物等の連携強化、事業機会拡大
- グループ各社との事業連携：営業基盤拡大、収益力強化

B

グローバルネットワークの相互活用

- 両社の多彩な海外拠点の活用、営業力強化

C

経営資源の有効活用

- 情報・技術・システムの共有を通じた研究、技術開発の強化
- 日本郵船の資金力、信用力を共有、戦略的な投資が可能



免責事項

本資料は、電子的または機械的な方法を問わず、当社の書面による承諾を得ることなく複製又は頒布等を行わないようお願いいたします。

Legal Disclaimer

No part of this document shall be reproduced, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording or otherwise, without the prior written permission of NYK Line.